

# 藤岡市地球温暖化対策実行計画

(事務事業編)

## 令和元年度実績報告書

令和3年2月

藤 岡 市

# 目 次

第 1 章 計画の概要.....	1
1 計画の期間.....	1
2 計画の対象範囲.....	1
3 計画の目標.....	2
第 2 章 温室効果ガスの排出状況.....	3
1 温室効果ガスの総排出量.....	3
2 活動別の温室効果ガスについて.....	4
(1) 燃料の使用.....	4
(2) 電気の使用.....	6
(3) 廃棄物の焼却.....	7
(4) その他.....	9
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量.....	10
3 総括.....	11
4 資料 1 対象施設一覧.....	12
資料 2-1 令和元年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	14
資料 2-2 基準年度(平成 27 年度)活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	15
資料 3-1 令和元年度所属別温室効果ガス排出状況.....	16
資料 3-2 基準年度(平成 27 年度)所属別温室効果ガス排出状況.....	17

## 第1章 計画の概要

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画として、「藤岡市地球温暖化対策実行計画（以下、実行計画という）」を平成19年9月に策定し、市自らの事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

現在、平成29年3月に策定した第3期実行計画に基づき市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進しており、本報告書は、第3期計画の実施状況を取りまとめたものです。

### 1 計画の期間

基準年度を平成27年度とした、平成29年度から令和3年度までの5年間

### 2 計画の対象範囲

#### (1) 対象となる事務・事業（対象施設については資料1参照）

本庁舎及び出先機関を含めたすべての市の組織及び施設等に係る事務・事業を対象とします（指定管理者制度により民間事業者等に管理運営を委託している施設等も含む）。

#### (2) 対象となる温室効果ガス

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）とします。法律で対象としているパーフルオロカーボン（PFC）及び六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）については、市の事務・事業からは排出につながる活動がない、あるいは排出量の把握が困難であるため対象外としています。

表1 基準年度（平成27年度）の温室効果ガス排出量と排出要因

種類	ガス排出量 (t)	地球温暖化 係数	CO <sub>2</sub> 換算量 (t-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 排出量 割合
<u>CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)</u> 我が国における温室効果ガス排出量の9割以上を占めている。 要因：化石燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチックの焼却等	16,187	1	16,187	97.32%
<u>CH<sub>4</sub>(メタン)</u> 天然ガスの主成分。有機物が嫌気状態で腐敗・発酵する際に生じる。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	0.039	25	1	0.01%
<u>N<sub>2</sub>O(一酸化二窒素)</u> 窒素酸化物。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	1.482	298	442	2.65%
<u>HFC(ハイドロフルオロカーボン)</u> 代替フロンとして冷媒等に使用されている。 要因：カーエアコンの使用	0.002	1,430	3	0.02%
計			16,633	100.00%

### 3 計画の目標

基準年度を平成 27 年度とし、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で、温室効果ガス総排出量を**毎年 1%、5 年間で 5%以上削減**することを目標としています。

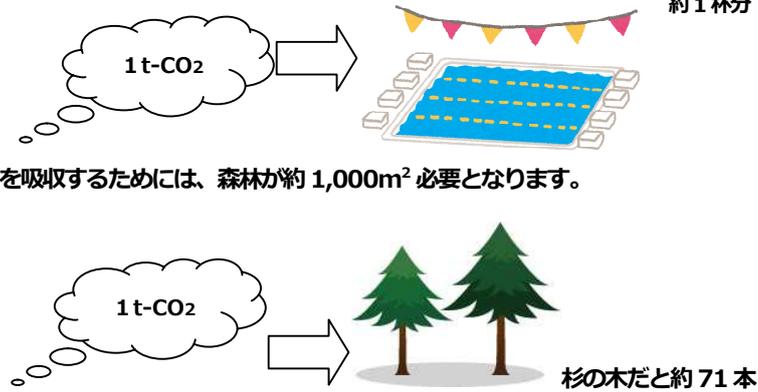
たとえば・・・

温室効果ガス 1 t の体積は 25m プール 1 杯分とほぼ等しい量となります。

※プールは 25m×13m×1.5m の一般的なもの

また・・・

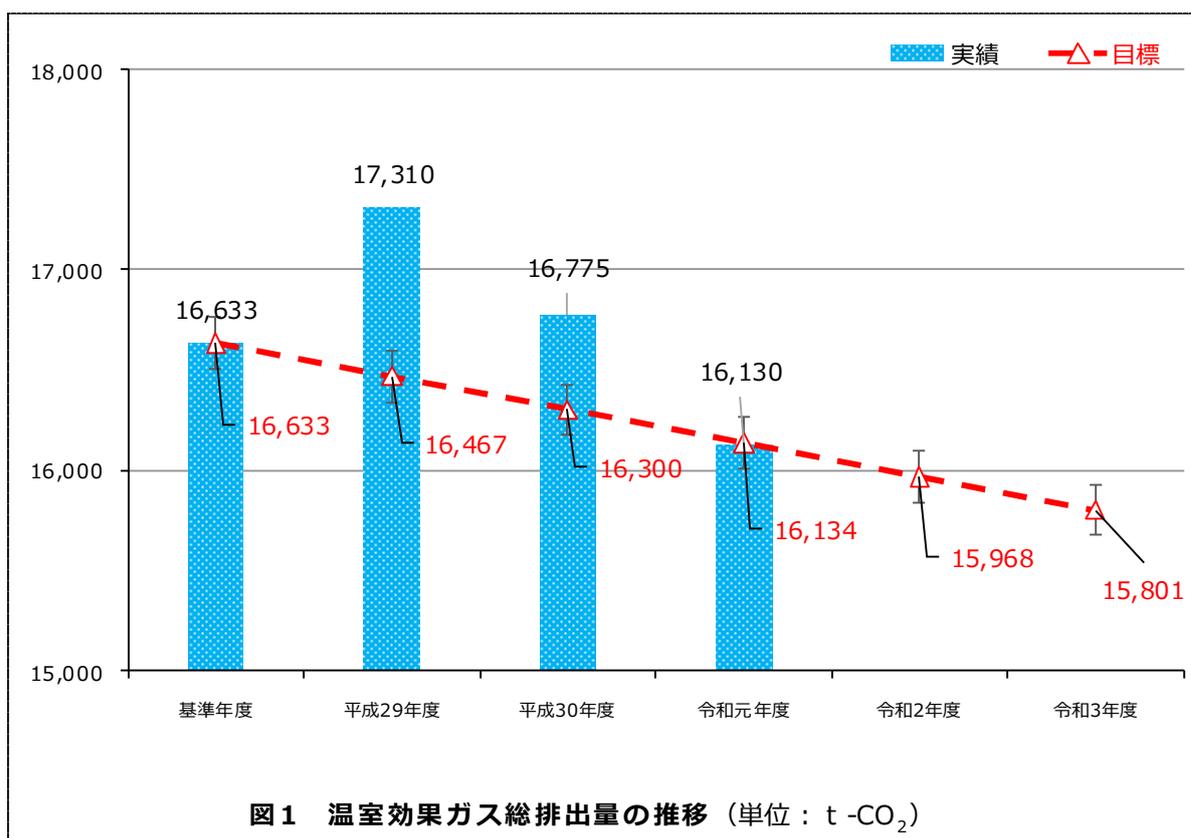
温室効果ガス 1 t を吸収するためには、森林が約 1,000m<sup>2</sup> 必要となります。



## 第2章 温室効果ガスの排出状況

### 1 温室効果ガスの総排出量

令和元年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は **16,130 t-CO<sub>2</sub>** となり、基準年度比で **3.0% (503t-CO<sub>2</sub>)** 減少しました。この減少した温室効果ガスは、杉の木約 36,000 本が吸収する効果と同じくらいになります。



温室効果ガス排出量の活動別排出量の推移については表2のとおりとなります。

表2 活動別温室効果ガス排出量の推移 (単位: t-CO<sub>2</sub>)

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
燃料の使用	2,068	1,933	1,932	1,791	-277	-13.4%
電気の使用	8,707	8,225	8,157	8,127	-580	-6.7%
廃棄物の焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	354	6.1%
その他	12	12	13	12	0	0%
合計	16,633	17,310	16,775	16,130	-503	-3.0%

## 2 活動別の温室効果ガスについて

### (1) 燃料の使用

燃料の使用による温室効果ガス排出量については基準年度と比較して**13.4% (277t-CO<sub>2</sub>) 減少**しました。(表3)

A重油の排出量が減少した主な要因は、老人福祉センターにおいてA重油を使用していたエアコンを補助する機械が故障したことにより機械を使用しなくなったこと等になります。

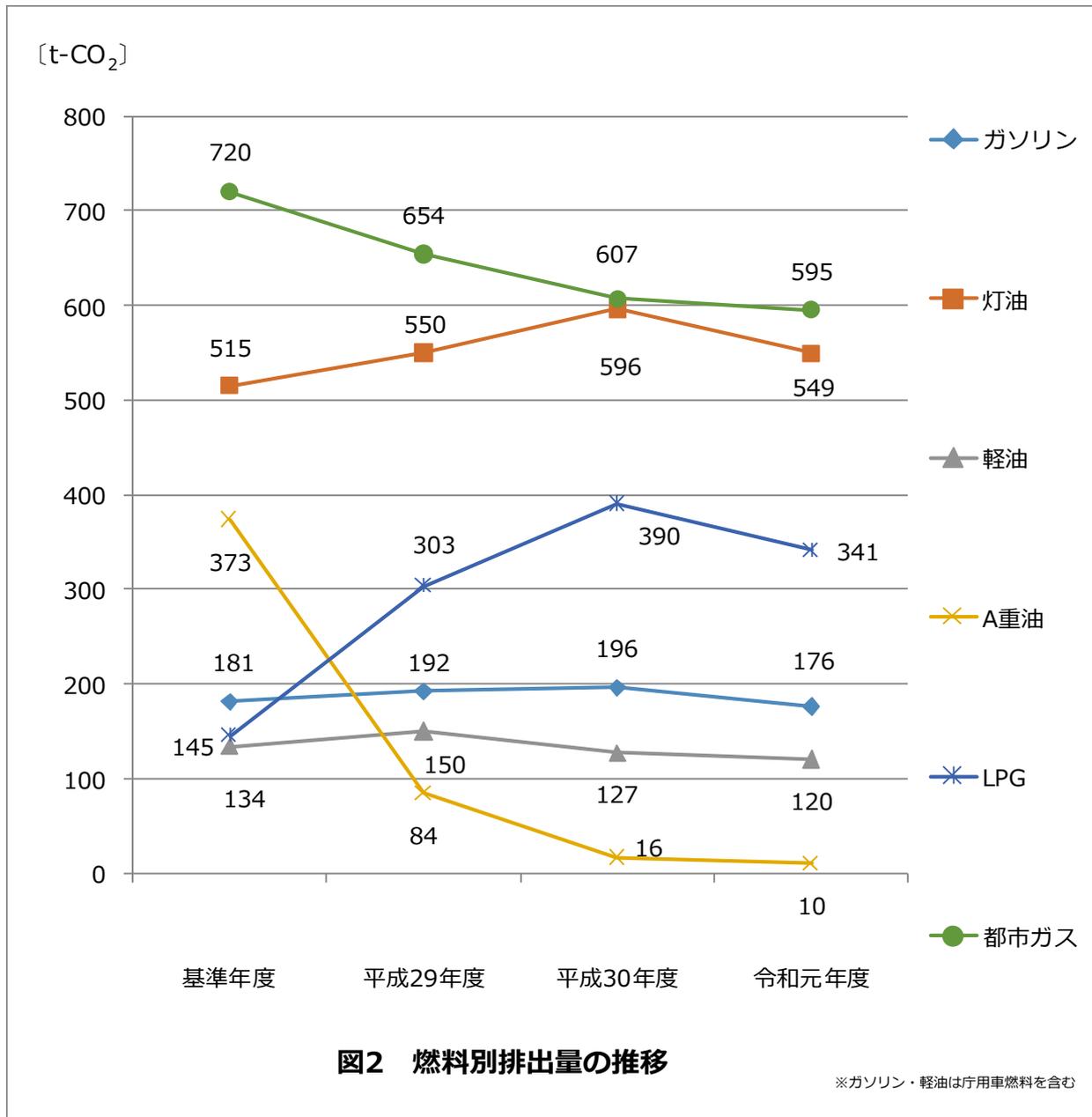
LPGの排出量が増加した主な要因は、新学校給食センターでA重油の代わりにLPGを使用することになったこと等になります。

表3 燃料の種類別温室効果ガス排出状況 (t-CO<sub>2</sub>換算)

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
ガソリン	181	192	196	176	-5	-2.8%
灯油	515	550	596	549	34	6.6%
軽油	134	150	127	120	-14	-10.5%
A重油	373	84	16	10	-363	-97.4%
LPG	145	303	390	341	196	135.1%
都市ガス	720	654	607	595	-125	-17.4%
温室効果ガス 排出量合計	2,068	1,933	1,932	1,791	-277	-13.4%

燃料別の排出量をグラフに示したものは下記のとおりとなります。（図2）

各項目をみると、基準年度と比較してガソリン、軽油、A重油、都市ガスにおいて排出量が減少した一方で、灯油、LPGは増加しました。



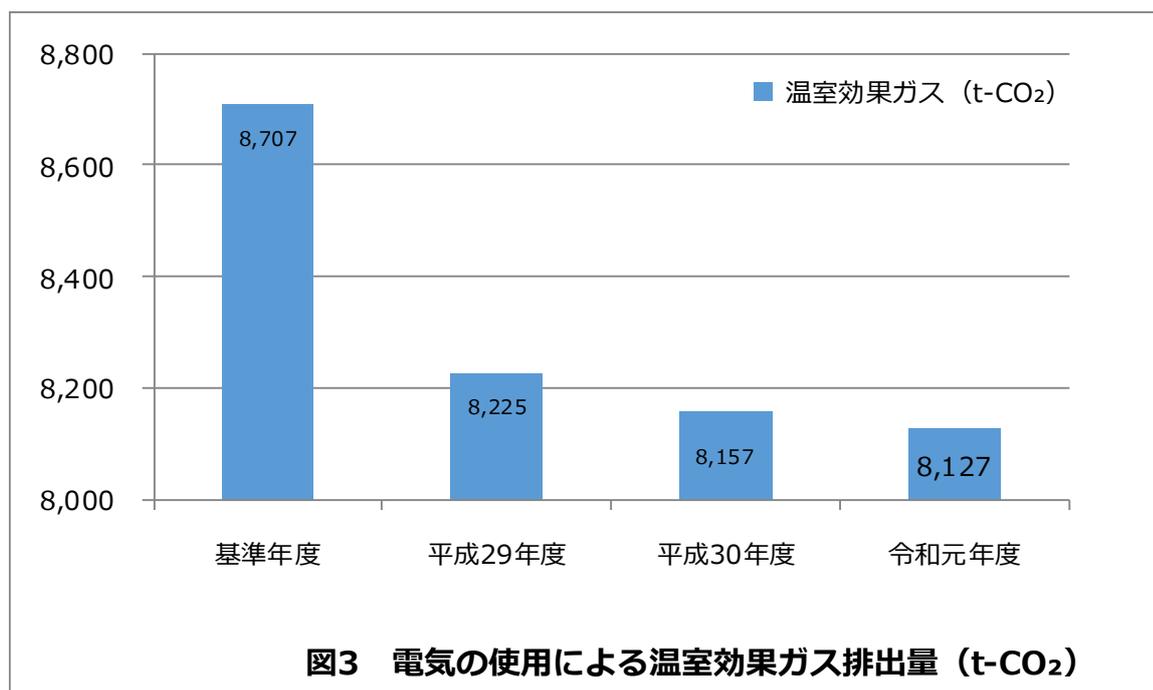
## (2) 電気の使用

電気の使用による温室効果ガスの排出量については基準年度比 **6.7 % (580 t-CO<sub>2</sub>)** 減少しました。

温室効果ガス排出量が基準年度と比較して減少したのは、公共施設全般において、設備更新等により電気使用量が減少傾向にあること、使用されなくなった施設が増加したことが主な要因と考えられます。

表4 電気の使用による温室効果ガス排出量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
電気の使用による 温室効果ガス 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	8,707	8,225	8,157	8,127	-580	-6.7%



### (3) 廃棄物の焼却

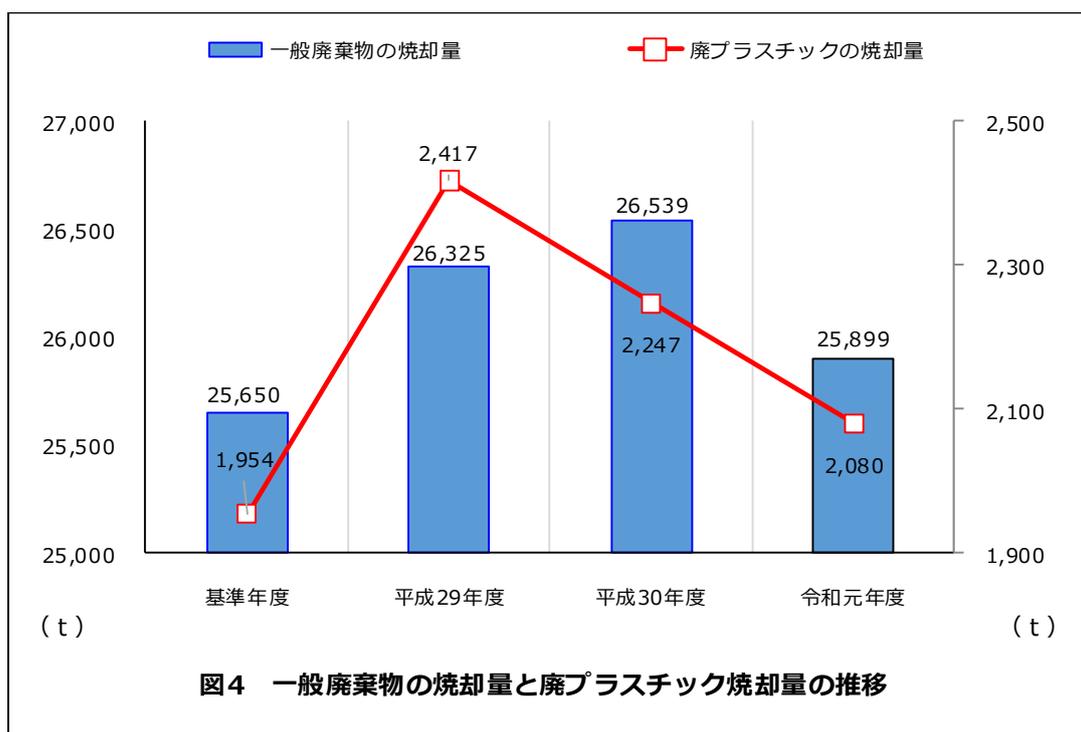
廃棄物の焼却に由来する温室効果ガスの排出量は、基準年度と比較して**6.1 % (354 t-CO<sub>2</sub>)**増加しました。これは、一般廃棄物の焼却量が基準年度よりも1.0 % (249t) 多かったこと、一般廃棄物に含まれる廃プラスチック（ビニール、プラ容器など）の割合が高かったことが影響していると考えられます。一方で、廃プラスチックは焼却することで発生する熱エネルギーが大きいいため、廃プラスチックを廃棄物燃焼の燃料として活用するサーマルリサイクルに利用している一面もあります。

廃プラスチックの焼却由来の温室効果ガス排出量については、総排出量の4割程度を占めており、温室効果ガスの削減に大きな影響を与えていますが、市の事務・事業から排出されるごみの他、一般家庭や事業所などから排出されるごみも算定に含まれるため、市の取り組みだけでは温室効果ガス排出量削減の推進は困難な状況となっています。

表5 廃棄物焼却による温室効果ガス排出量と各種焼却量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
廃棄物焼却由来温室効果ガス(t-CO <sub>2</sub> )	5,846	7,140	6,673	6,200	354	6.1%

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
一般廃棄物の焼却量(t)	25,650	26,325	26,539	25,899	249	1.0%
廃プラスチックの焼却量(t)	1,954	2,417	2,247	2,080	126	6.4%



なお、一般廃棄物の中に含まれる廃プラスチックの焼却量は、一般廃棄物焼却量とその一般廃棄物に含まれるプラスチック類比率の2点が大きく影響します。廃プラスチック焼却量は、下図で示す算定方法により、年4回実施されているごみ組成分析結果の水分含有率とプラスチック類比率を基に推計されます。

一般廃棄物焼却量 × (1 - 水分含有率) × プラスチック類比率		
項目	基準年度	令和元年度
一般廃棄物焼却量	25,650 t	25,899 t
水分含有率	45.6 %	46.1 %
プラスチック類比率	14.0 %	14.9 %
廃プラスチック焼却量	1,954 t	2,080 t

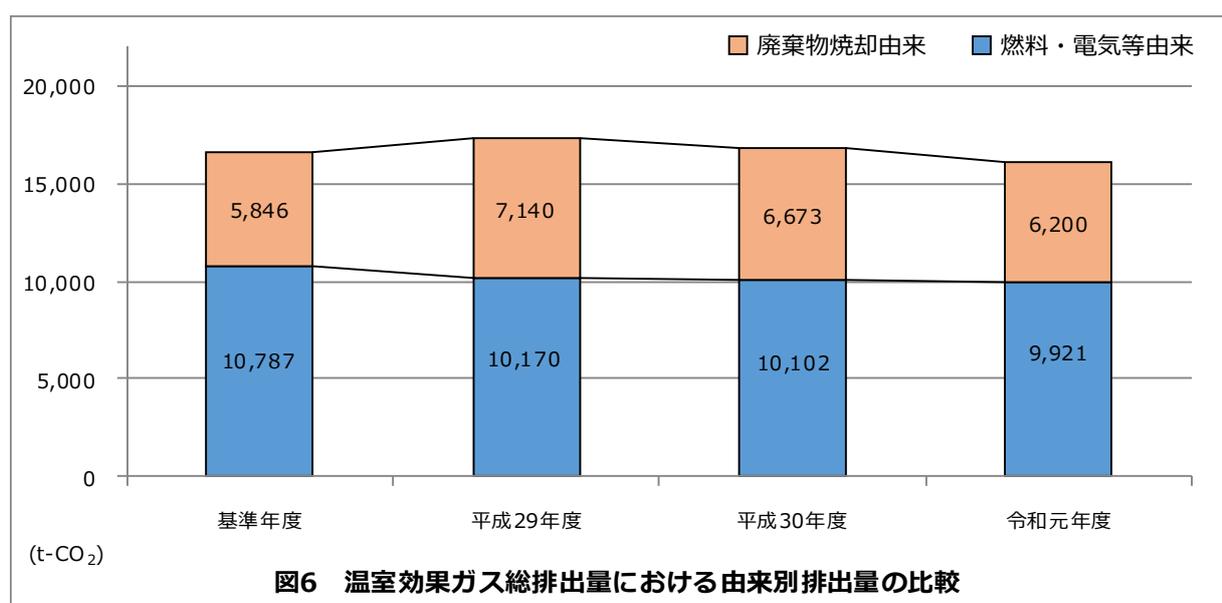
図5 廃プラスチックの焼却量の算定方法

温室効果ガスの排出量に最も大きな影響を与えている一般廃棄物（廃プラスチックの焼却を含む）の焼却処分した部分を除いて算定した場合の令和元年度温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して**8.0%減少しました**。表6、図6に示したとおり、温室効果ガスの総排出量は一般廃棄物の焼却由来の排出量に大きく左右されていることがうかがえます。

表6 一般廃棄物の焼却由来の排出量を除いた温室効果ガス排出量（単位：t-CO<sub>2</sub>）

種類	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
燃料・電気・その他	10,787	10,170	10,102	9,921	-866	-8.0%
廃棄物焼却	5,846	7,140	6,673	6,200	354	6.1%
総排出量	16,633	17,310	16,775	16,130	-503	-3.0%

※小数点以下四捨五入



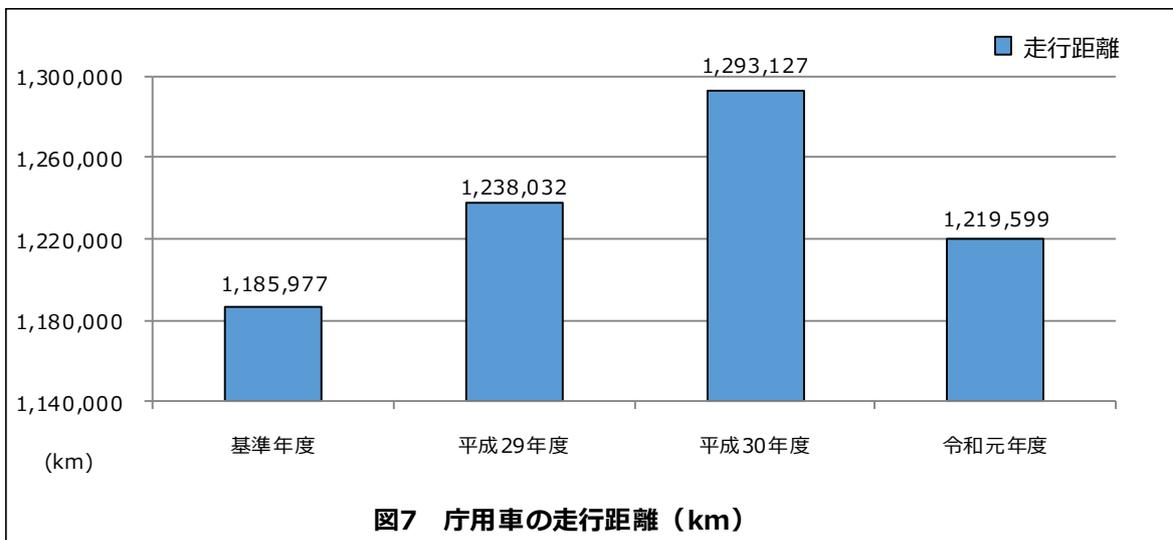
#### (4) その他

##### ① 庁用車走行距離

庁用車の走行距離については、基準年度比で **2.8 % (33,622 km)** 増加しました。

表7 自動車の走行距離と温室効果ガス排出量

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	増減量	増減率
走行距離合計 (km)	1,185,977	1,238,032	1,293,127	1,219,599	33,622	2.8%
温室効果ガス 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	9	9	10	9	0	0%



##### ② その他

カーエアコン搭載車数は基準年度と比較して 2 台減少しましたが、カーエアコンの搭載車数から算定される温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増減はありませんでした。

なお、笑気ガス（麻酔剤）の使用はありませんでした。

表8 その他項目

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
カーエアコン 搭載車数 (台)	222	230	225	220
温室効果 ガス(t-CO <sub>2</sub> )	3	3	3	3
笑気ガス (麻酔剤) 使用量 (kg)	0	0	0	0

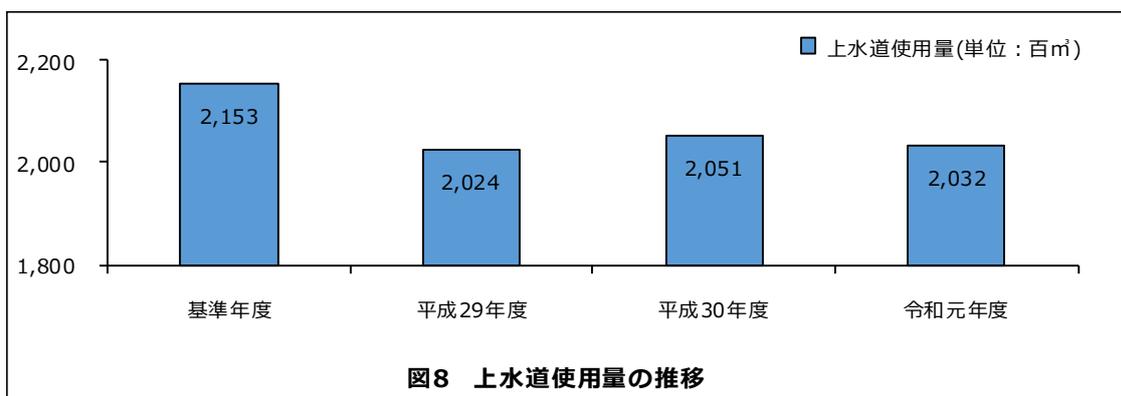
## (5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量

### ①上水道使用量

基準年度と比較して**5.6% (12,072 m<sup>3</sup>)**減少しました。これは、25mプール約24杯分の水道水を削減したことになります。細かな節水の積み重ね等が奏功したことが要因と考えられます。

表9 上水道使用量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
上水道使用量 (m <sup>3</sup> )	215,254	202,382	205,102	203,182	-12,072	-5.6%

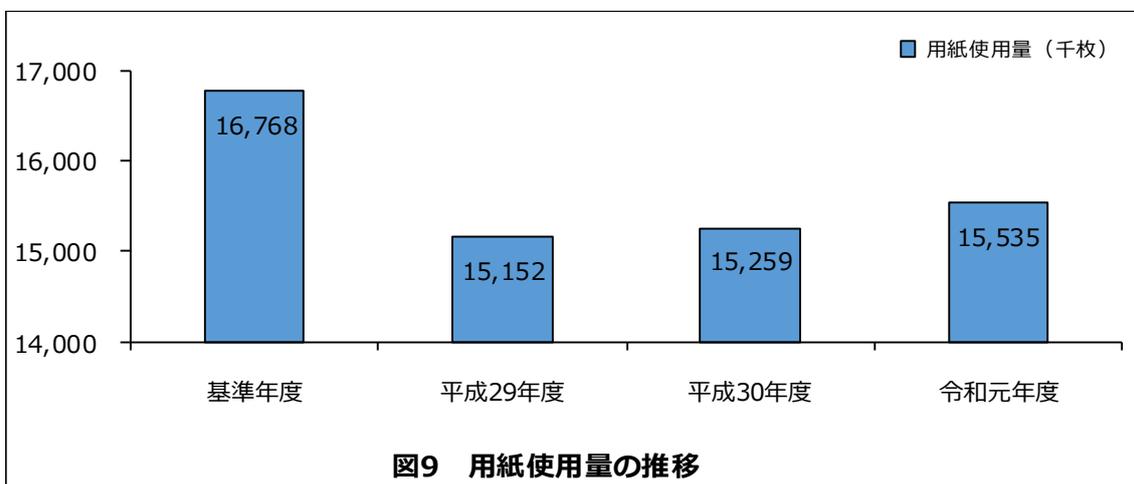


### ②用紙使用量

基準年度と比較して**7.4% (1,233千枚)**の減少となりました。これは、市で購入しているA4コピー用紙（1箱2,500枚入）約500箱分、使用量が減少したことになります。

表10 用紙使用量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
用紙使用量 (千枚)	16,768	15,152	15,259	15,535	-1,233	-7.4%



### 3 総括

平成 29 年 3 月に策定した「第 3 期藤岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進してきました。

計画の目標としては令和 3 年度までに温室効果ガス総排出量を 5%以上削減することとされていますが、令和元年度の排出量実績は、基準年度と比較して 3.0%の減少となりました（P3,表 2）。

温室効果ガス排出量の活動別排出量は、燃料の使用による温室効果ガス排出量は 13.4%減、電気の使用による温室効果ガス排出量は 6.7%減となりましたが、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量は 6.1%増となりました。

燃料の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度と比べて減少しましたが、ガソリンや灯油の使用量が増加傾向にあります。低公害車・低燃費の導入を推進するだけでなく、職員に対しエコドライブへの取り組みを周知することや、安易な暖房器具の使用を防ぐべく、職員に対し重ね着で温度調節をするウォームビズを周知するなど、さらなる取り組みを行う必要があります。

電気の使用による温室効果ガス排出量については、総排出量の約 50%を占めており、温室効果ガスの削減に最も大きな影響を与えています。基準年度と比べると温室効果ガス排出量は減少していますが、今後も積極的に使用量を削減していく必要があるため、職員に対する電気使用量削減のための取り組み策の周知等を行い、省エネを進める必要があります。

廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量が増加したのは、一般廃棄物の焼却量とそれに含まれる廃プラスチックの焼却量が基準年度に比べて増加したことに伴い、温室効果ガス排出量も増加したことが大きく影響しています。一般廃棄物、特に廃プラスチックの焼却に関しては、職員の取り組みだけで総量を削減することは困難であり、市民や事業者の協力が不可欠となります。ごみの減量化については、市民・事業者に対するごみの分別と減量化に関する啓発活動を粘り強く行っていく必要があります。

このような中、環境課ではごみ減量化に繋がる取り組みとして、令和 2 年度はレジ袋が有料化したことを踏まえて、昨年度と同様に、マイバッグの使用を呼びかけレジ袋の削減を促す店頭啓発活動や、食品ロスを減らすために群馬県主催「ぐんまちゃんの食べきり協力店」の登録推進を実施しました。また、さらなる温暖化対策を推進すべく、2050 年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目標の一つに掲げる「ふじおか 5 つのゼロ宣言」を表明しました。清掃センターでは、一般廃棄物の排出量削減のために、廃食油の回収や剪定枝粉碎機の貸し出しによる剪定枝の堆肥化の推進を実施しています。市民や事業者への浸透は時間を要しますが、このような具体的かつ継続的な取り組みを行っていくことが市全体のごみ減量化に繋がると考えられるため、ごみ問題の意識が根付いていくよう啓発活動を続けていきます。

本計画は、市役所の事務・事業に係るものであり、計画の推進には職員一人ひとりの取り組みが重要です。一方で、温室効果ガス排出に多大な影響を与えている一般廃棄物の焼却量は、一般家庭や事業所などから排出されるものを含んでいるため、市の取り組みだけでなく、市民や事業者の協力が不可欠となります。そのため、環境情報の提供を行うことによる、職員の意識高揚を図るとともに、市民、事業者に対する啓発活動を積極的に実施し、本計画に掲げる目標達成に向けて取り組みを進めます。

## 4 資料

### 資料1 対象施設一覧

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
1	本庁舎	財政課	40	児童デイサービスセンターふらっと	福祉課
2	中庁舎		41	老人福祉センター	介護高齢課
3	東庁舎		42	高齢者自立センター藤岡	
4	三波川東集会場		43	高齢者自立センター鬼石	
5	平滑ゲートボール場		44	小野保育園	子ども課
6	旧三波川幼稚園		45	おにし保育園	
7	旧日野中央小学校		46	みどの学童クラブ	
8	旧日野西小学校		47	藤岡中央児童館	
9	旧ゆったり館		48	ららん藤岡	商工観光課
10	旧みかぼ保育園		49	ふじふれあい館	
11	みかぼみらい館	50	土と火の里公園		
12	三波川第2コミュニティセンター	地域づくり課	51	高山社情報館	農林課
13	本庁舎（非常用発電装置）	総務課	52	他観光施設等	
14	旧鬼石総合支所		53	農業研修センター	
15	防災センター	地域安全課	54	蛇喰溪谷休憩所	農村整備課
16	第1分団詰所		55	藤岡かんがい排水施設	
17	第2分団詰所		56	他かんがい排水施設等	
18	第3分団詰所		57	街路灯等	土木課
19	第4分団詰所		58	庚申山総合公園	都市施設課
20	第5分団詰所		59	毛野国白石丘陵公園	
21	第6分団詰所		60	藤岡総合公園	
22	第7分団詰所		61	中央公園	
23	第8分団詰所		62	城山公園	
24	第9分団詰所		63	浅間公園	
25	第11分団詰所		64	旭公園	
26	第12分団詰所		65	北の原公園	
27	第13分団詰所		66	みどり公園	
28	第14分団詰所		67	城址緑地	
29	他消防施設等	68	烏川緑地		
30	偕同苑	市民課	69	神流川緑地	区画整理課
31	清掃センター	清掃センター	70	市民プール（みずとびあ）	
32	鬼石資源化センター		71	他公園等	
33	コミュニティ・センター（やすらぎ）		72	北藤岡駅周辺土地区画整理事務所	
34	保美憩いの広場	健康づくり課	73	他排水施設等	鬼石振興課
35	保健センター	74	鬼石総合支所（鬼石公民館を含む）		
36	福祉会館	福祉課	75	他便所施設等	にぎわい観光課
37	栗須の郷		76	桜山公園	
38	生活介護センター（もくせい）		77	自然活用管理センター（やどや）	
39	障害者支援センターきらら		78	体験学習館（MAG）	

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
79	譲原農産物処理加工施設天神茶屋	にぎわい観光課	109	平井小学校	教育総務課
80	平・根際農事集会所		110	日野小学校	
81	宇塩山村活性化センター		111	鬼石北小学校	
82	小平山村活性化センター		112	鬼石小学校	
83	他観光施設等		113	東中学校	
84	中央浄水場	経営課 浄水課	114	北中学校	
85	北部浄水場		115	小野中学校	
86	東部浄水場		116	西中学校	
87	上の山浄水場		117	鬼石中学校	
88	中倉簡易水道施設		118	にじの家	
89	三友簡易水道施設		119	総合学習センター	生涯学習課
90	芝平簡易水道施設		120	藤岡公民館	
91	鹿島簡易水道施設		121	神流公民館	
92	塩平小水道施設		122	小野公民館	
93	犬目簡易水道施設		123	美土里公民館	
94	大栃小水道施設	124	美九里公民館		
95	妹ヶ谷簡易水道施設	125	平井公民館		
96	三波川中部簡易水道施設	126	日野公民館		
97	他上水道施設等	127	藤岡市民ホール		
98	汚水中継ポンプ等	下水道課	128	鬼石多目的ホール	
99	国民健康保険鬼石病院	鬼石病院 事務課	129	上大塚東組集会所	
100	介護老人保健施設鬼石		130	中原集会所	
101	教育庁舎	教育総務課	131	駒形集会所	
102	藤岡第一小学校		132	国指定史跡高山社跡	文化財保護課
103	藤岡第二小学校		133	埋蔵文化財収蔵庫	
104	神流小学校		134	関東管領平井城址公園	
105	小野小学校		135	関東管領金山城址公園	
106	美土里小学校		136	他文化財施設等	
107	美九里東小学校		137	給食センター	学校給食センター
108	美九里西小学校		138	図書館	図書館

令和2年3月31日現在

資料 2-1 令和元年度 活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	構成比		
CO <sub>2</sub>	燃料使用量	ガソリン	75,720	ℓ	175,671	1.089%		
		灯油	220,436	ℓ	548,886	3.403%		
		軽油	46,308	ℓ	119,474	0.741%		
		A重油	3,800	ℓ	10,298	0.064%		
		液化石油ガス(LPG)	136,016	kg	341,400	2.117%		
		都市ガス	276,735	m <sup>3</sup>	594,980	3.689%		
	電気使用量	東京電力(株)	12,525,544	kwh	5,861,487	36.34%		
		エネサーブ(株)	694,717	kwh	294,560	1.826%		
		リエスパワー(株)	346,380	kwh	174,229	1.08%		
		シナジアパワー	1,504,716	kwh	765,900	4.748%		
		楽天モバイル(株)	776,852	kwh	433,483	2.688%		
		(株)NTT ファシリティーズ	1,037,387	kwh	597,535	3.705%		
一般廃棄物(廃プラスチック)焼却量		2,080	t	5,761,600	35.721%			
CH <sub>4</sub>	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	195,201	km	49	0.002%	
			軽自動車	324,430	km	81		
			普通貨物車	885	km	1		
			小型貨物車	119,004	km	45		
			軽貨物車	285,119	km	78		
			特殊用途車	10,344	km	9		
		軽油	普通・小型自動車	4,950	km	0		
			普通貨物車	117,835	km	44		
			小型貨物車	21,077	km	4		
			特殊用途車	70,197	km	23		
			バス	70,557	km	30		
			一般廃棄物焼却量		25,899	t		615
	N <sub>2</sub> O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	195,201	km	1,687	0.052%
				軽自動車	324,430	km	2,127	
普通貨物車				885	km	10		
小型自動車				119,004	km	922		
軽貨物車				285,119	km	1,869		
特殊用途車				10,344	km	108		
軽油			普通・小型自動車	4,950	km	10		
			普通貨物車	117,835	km	492		
			小型貨物車	21,077	km	57		
			特殊用途車	70,197	km	523		
			バス	70,557	km	526		
			一般廃棄物焼却量		25,899	t	437,605	
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.00%			
HFC		封入カーエアコンの台数		220	台	3,146	0.02%	
合計(CO <sub>2</sub> 換算量)					16,120,821	100.00%		

資料 2-2 基準年度（平成 27 年度）活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	構成比
CO <sub>2</sub>	燃料使用量	ガソリン	78,117	ℓ	181,231	1.09%
		灯油	206,887	ℓ	515,149	3.10%
		軽油	51,805	ℓ	133,657	0.80%
		A重油	137,600	ℓ	372,896	2.24%
		液化石油ガス(LPG)	57,710	kg	144,852	0.87%
		都市ガス	334,876	m <sup>3</sup>	719,983	4.31%
	電気使用量	東京電力(株)	13,574,861	kwh	6,855,305	41.22%
		丸紅(株)	1,912,363	kwh	921,759	5.54%
		エネサーブ(株)	1,261,108	kwh	799,542	4.81%
		日本ロジテック協同組合	272,565	kwh	105,210	0.63%
		(株)エネット	54,643	kwh	24,808	0.15%
一般廃棄物(廃プラスチック)焼却量		1,954	t	5,412,580	32.54%	
CH <sub>4</sub>	自動車走行距離 ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	48	0.00%
		軽自動車	261,225	km	65	
		普通貨物車	0	km	0	
		小型貨物車	112,718	km	42	
		軽貨物車	282,571	km	78	
		特殊用途車	9,259	km	8	
	自動車走行距離 軽油	普通・小型自動車	0	km	0	
		普通貨物車	124,969	km	47	
		小型貨物車	21,336	km	4	
		特殊用途車	69,129	km	22	
		バス	111,782	km	48	
一般廃棄物焼却量		25,650	t	609	0.00%	
N <sub>2</sub> O	自動車走行距離 ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	1,668	0.05%
		軽自動車	261,225	km	1,713	
		普通貨物車	0	km	0	
		小型自動車	112,718	km	873	
		軽貨物車	282,571	km	1,853	
		特殊用途車	9,259	km	97	
	自動車走行距離 軽油	普通・小型自動車	0	km	0	
		普通貨物車	124,969	km	521	
		小型貨物車	21,336	km	57	
		特殊用途車	69,129	km	515	
		バス	111,782	km	833	
一般廃棄物焼却量		25,650	t	433,398	2.61%	
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.00%	
HFC	封入カーエアコンの台数		222	台	3,175	0.02%
合計(CO <sub>2</sub> 換算量)					16,632,646	100.00%

資料 3-1 令和元年度 所属別温室効果ガス排出状況 (CO<sub>2</sub>換算 : 単位 k g-CO<sub>2</sub>)

所属名	燃料の使用						電気 の使用	廃棄物 の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	4,638	0	0	0	0	0	0		224	4,862
財政課	20,899	7,450	16,589	0	0	174	252,476		1,496	299,084
地域づくり課	0	72	0	0	12	155,095	297,325		0	452,504
総務課	0	0	58	0	0	0	571		0	629
地域安全課	7,997	0	5,108	0	0	0	22,105		562	35,772
契約検査課	429	0	0	0	0	0	0		31	460
市民課	418	132,005	0	0	0	258	24,571		43	157,295
税務課	650	0	0	0	0	0	0		42	692
納税相談課	826	0	0	0	0	0	0		79	905
保険年金課	429	0	0	0	0	0	0		43	472
環境課	2,635	0	0	0	0	0	0		128	2,763
清掃センター	14,825	159,514	60,295	0	407	0	1,552,728	6,199,820	1,177	7,988,766
健康づくり課	534	0	0	0	0	198	0		59	791
福祉課	14,455	0	0	0	92	201,661	225,018		690	441,916
介護高齢課	6,522	23,075	929	0	35	142	33,101		533	64,337
子ども課	2,819	90	0	0	10,928	0	56,776		239	70,852
商工観光課	3,775	1,937	0	0	15,517	0	473,253		208	494,690
農林課	1,206	0	0	0	0	0	1,704		86	2,996
農村整備課	3,503	0	0	0	0	0	17,450		188	21,141
土木課	6,921	0	0	0	0	0	28,858		327	36,106
建築課	1,821	0	0	0	0	0	0		117	1,938
都市計画課	1,241	0	0	0	0	0	0		84	1,325
都市施設課	8,503	859	8,579	0	60	208,655	801,578		188	1,028,421
区画整理課	974	822	0	0	29	0	6,263		73	8,161
鬼石振興課	6,097	0	289	0	271	0	23,207		363	30,227
にぎわい観光課	3,274	3,648	0	10,298	15,885	0	95,760		57	128,922
経営課	0	0	0	0	135	0	2,233,716		0	2,233,851
水道工務課	6,607	0	1,233	0	0	0	0		395	8,235
浄水課	7,025	0	0	0	0	0	0		573	7,598
下水道課	2,960	0	0	0	0	0	20,915		127	24,002
議事課	991	0	0	0	0	0	0		58	1,049
農業委員会事務局	554	0	0	0	0	0	0		46	600
教育総務課	8,839	1,344	14,690	0	0	215	828,475		915	854,478
学校教育課	1,766	60,810	0	0	1,042	0	7,848		147	71,613
生涯学習課	2,246	29,897	0	0	340	1,073	207,947		426	241,929
文化財保護課	8,795	498	310	0	0	0	82,169		512	92,284
スポーツ課	2,153	0	710	0	0	0	0		74	2,937
学校給食センター	937	0	537	0	240,669	0	366,170		88	608,401
図書館	1,241	0	911	0	0	27,509	55,454		114	85,229
鬼石病院	16,166	126,865	9,236	0	55,978	0	411,757		1,329	621,331
合計	175,671	548,886	119,474	10,298	341,400	594,980	8,127,194	6,199,820	11,841	16,129,564

※その他…排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

資料3-2 基準年度（平成27年度）所属別温室効果ガス排出状況（CO<sub>2</sub>換算：単位kg-CO<sub>2</sub>）

所属名	燃料の使用						電気の使用	廃棄物の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,596	0	0	0	0	0	0		192	3,788
財政課	22,664	13,272	17,335	0	0	151	301,632		1,675	356,729
自治交流課	0	1,175	0	0	73	123,309	343,260		0	467,817
総務課	0	0	57	0	0	0	0		0	57
地域安全課	7,672	0	3,710	0	100	0	25,296		438	37,216
契約検査課	557	0	0	0	0	0	0		33	590
市民課	800	119,164	0	0	0	454	35,282		48	155,748
税務課	742	0	0	0	0	0	0		46	788
納税相談課	1,670	0	0	0	0	0	0		127	1,797
保険年金課	1,253	0	0	0	0	0	0		76	1,328
環境課	2,318	0	3	0	0	0	0		114	2,434
清掃センター	12,115	147,453	59,366	0	637	0	1,757,201	5,849,587	1,211	7,827,570
健康づくり課	1,346	0	0	0	0	254	0		109	1,708
福祉課	10,707	0	0	0	84	271,579	277,565		556	560,491
介護高齢課	8,614	22,759	1,300	2,710	271	531	38,169		520	74,874
子ども課	2,793	50	0	0	12,629	0	66,948		284	82,705
商工観光課	1,578	5,822	0	0	34,897	0	454,717		69	497,081
農林課	1,346	0	0	0	0	0	2,130		72	3,547
農村整備課	4,002	0	0	0	0	0	10,140		187	14,330
土木課	7,313	0	0	0	0	0	29,907		340	37,559
建築課	3,422	0	0	0	0	0	0		193	3,615
都市計画課	10,267	2,637	3,369	0	107	301,345	730,787		305	1,048,819
北藤岡駅周辺土地区画 整理事務所	1,299	209	0	0	36	0	8,308		80	9,932
地域振興課	7,371	498	815	16,260	93	0	52,381		376	77,794
にぎわい観光課	2,923	4,997	0	17,886	16,097	0	126,464		48	168,415
経営課	0	0	0	0	113	0	2,466,883		0	2,466,996
水道工務課	8,097	0	2,064	0	0	0	0		400	10,561
浄水課	12,366	0	0	10,840	0	0	0		511	23,717
下水道課	3,153	0	0	0	0	0	12,646		159	15,958
議事課	879	0	0	0	0	0	0		44	923
農業委員会事務局	383	0	0	0	0	0	0		28	411
教育総務課	6,677	1,992	29,990	0	0	269	944,099		1,170	984,197
学校教育課	2,114	61,558	0	0	1,226	0	8,117		151	73,166
生涯学習課	7,292	12,679	0	0	759	1,600	250,043		419	272,791
文化財保護課	6,832	0	1,084	0	0	0	81,116		373	89,404
スポーツ課	2,596	0	851	0	0	0	0		101	3,549
学校給食センター	872	916	929	325,200	13,399	0	177,239		86	518,641
図書館	844	0	1,091	0	0	20,492	55,335		75	77,837
鬼石病院	12,758	119,968	11,693	0	64,331	0	450,958		1,050	660,757
合計	181,231	515,149	133,657	372,896	144,852	719,983	8,706,624	5,849,587	11,667	16,632,646

※その他…排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの

---

藤岡市地球温暖化対策実行計画  
令和元年度実績報告書

令和3年2月

発行 藤岡市 市民環境部 環境課

〒375-8601

群馬県藤岡市中栗須327番地

電話 0274-40-2264 (直通)

FAX 0274-24-9268

Eメール

kankyo@city.fujioka.gunma.jp

---